

2011. 8. 29

## 2011年8月18日東京航空交通管制部調査に基づく論点メモ (桑野、芝、西尾)

### はじめに - 調査の視点

- ・ファクトベースの視察とヒアリング（本音に迫りたい思い）
- ・個別（福岡・東管）のケースの問題点と、制度上の課題
- ・施設・機器・技術上（ハード）の問題と、規則運用上（ソフト）の問題
- ・調査目的と職員のプライバシーの問題

### 1. 見学者の受け入れについて

- ・福岡のケース以前：規定の弱さと運用の緩さ（裁量大）
- ・福岡のケース以後：「東京航空交通管制部の視察・見学に係る受入要領」の影響  
受け入れ実態に大きな変化なし（運用室への入室、機器への接近・接触も）
- ・「保安企画課長補佐発業務連絡」（4/27）の取り扱い（総務課長止まり、浸透せず）
- ・東管ケース発生以降：運用室への入室禁止（今回も）
- ・見学の必要性：一般に認知されることの重要性、リクルートの意義（全体の空気）

### 2. 福岡、東管ケースでの問題の所在

- ・管制官個人の責任感の問題（福岡のケースは東京ではあり得ない…）
- ・安全確保との関係（間接的との認識？）
- ・予防・防止できない管理体制の問題、責任の所在
- ・親族・友人・知人の範囲と身元確認上の問題（テロのリスクも？）
- ・ツイッターという手段の問題、文面の問題（まさか…）
- ・具体的なリスクと別に、外部から見た「信用失墜」という問題

### 3. 管理体制・組織内コミュニケーション上の課題

- ・組織の緊張感の緩み、との見方
- ・運用室への受け入れの基準（受け入れが必要なグループ、原則入れないグループ）
- ・管理職から管制官への連絡事項の周知のシステム（文書・掲示・口頭）
- ・決裁に関する公式ルールと実態の乖離
- ・ルール徹底上の問題、担当者の意識の問題（東管のケースは防止できた？）
- ・管制官レベルの問題と管理職レベルの問題：比重はどちらか？
- ・「安全第一」の意識とその他の規律との関係

## 4. 見学上の問題と「重大インシデント」との関連

- ・ 緊張感・規律の緩みとリンクの可能性も
- ・ 別次元の問題という認識も

## 5. 東京航空交通管制部の位置づけ

- ・ 他施設の機能の統合・補完も
- ・ テロ対策の必要
- ・ 仕事の困難と量、職員の誇りとも関係

## 6. 人事制度上の課題

- ・ 一般の事務職員と管制官の関係：相互に干渉せずか？
- ・ 本省と管制の現場との関係、人事異動・訪問の頻度
- ・ 評価制度の問題（管制業務の実態、評価のむずかしさ）と改善の必要
- ・ 管制官の生きがい：社会的認知、同僚の評価、幹部との信頼関係

## その他

- ・ 当事者インタビューの可能性
- ・ 運用室入室禁止の是非
- ・ 事前の相談の可能性
- ・ 管制業務の実態に触れた素朴な感想

（文責：西尾）